



高山記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和6年8月22日（木） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
農政課スマート農業推進室	スマート農業推進係	足立・榊林	内線 4024 直通 058-272-1562 FAX 058-278-2680
飛騨農林事務所	農業普及課地域支援第二係	田口（和）	内線 261 代表 0577-33-1111 FAX 0577-36-1246

当日の連絡先：榊林 050-5470-6077（携帯）

スマート農業の技術力向上研修（第7回） スマート農業技術を活用した環境保全型精密農業の実演会を開催します

農業における環境にやさしい取組みが重要となる中、県では国の「スマート農業実証プロジェクト※¹」を活用し、「豚ふんペレット利用を中心とした環境保全型精密農業※²」の実証に取り組んでいます。

このたび飛騨市において、本実証で用いるスマート農業機器の効果を県内の農業者等に広く情報発信し、技術を普及するため、下記のとおり実演会を開催します。

記

- 日時 令和6年8月29日（木） 10:00～11:45
（雨天の場合、開催内容の一部を変更します。）
- 場所 <座学> 飛騨市文化交流センター 小ホール
（飛騨市古川町若宮2丁目1-63）
<実演> （有）エイドスタッフほ場
（飛騨市古川町是重1084-1）
- 主催者 大区画化ほ場環境保全型精密農業実証コンソーシアム※³
- 参加予定 50名（農業者、関係団体、行政機関等。募集は終了しています。）
- 内容 （1）スマート農業実証プロジェクトの概要説明
（2）営農管理システム（KSAS）の説明、優良事例の紹介
（3）しゃそくれんどうしょうめいきよせんこうはしゆき車速連動小明渠浅耕播種機及び除草剤散布機を装着したロボットトラクタによる、大豆の耕起、播種、除草剤散布同時作業の説明、実演
- その他 飛騨市文化交流センターで説明後、実演ほ場へ移動します。
実演会場周辺には駐車できませんので、車は県中山間農業研究所（飛騨

市古川町是重2丁目6-56)に駐車し、徒歩で移動してください。
取材を希望される場合は、8月28日(水)正午までに農政課スマート
農業推進室または飛騨農林事務所担当者までご連絡願います。

※1 スマート農業実証プロジェクト

令和元年度から始まった農林水産省の事業であり、スマート農業技術を実際に生産現場に導入し、技術実証を行うとともに、技術の導入による経営への効果を明らかにすることを目的として実施。

令和元年度から令和5年度まで、全国217地区において実証を行っている。

※2 豚ふんペレット利用を中心とした環境保全型精密農業

大区画化整備後のほ場における水稲・大豆作において、気象観測装置やセンシングドローンなどのスマート農業機器を活用し、地元から供給される豚ふんペレットを効果的、効率的に利用することで、作業の省力化と環境負荷低減を両立させる農業。

※3 大区画化ほ場環境保全型精密農業実証コンソーシアム

スマート農業実証プロジェクトを実施するため、県と関係機関で結成したコンソーシアム。

【構成員】

- (有) エイドスタッフ、飛騨市、高山市、白川村、飛騨農業協同組合、
- (有) 吉野ジーピーファーム、(株) ドローンコンシェルジュ、KDDI (株)、
- (株) ビジョンテック、(株) 東海近畿クボタ、(一社) 岐阜県農業会議、県

参考：実演会で紹介する農業機器等

○営農管理システム (KSAS)

パソコン等で、ほ場管理や作業記録による進捗状況の確認ができ、農業機械と連携することで、自動で作業を記録することも可能。

○車速連動小明渠浅耕播種機

トラクターに装着し、深さ約12cmの溝(小明渠)を作り、溝と溝の間を深さ約5cmで浅く耕し(浅耕)播種を行う作業機。ほ場の排水性と作業性が向上。

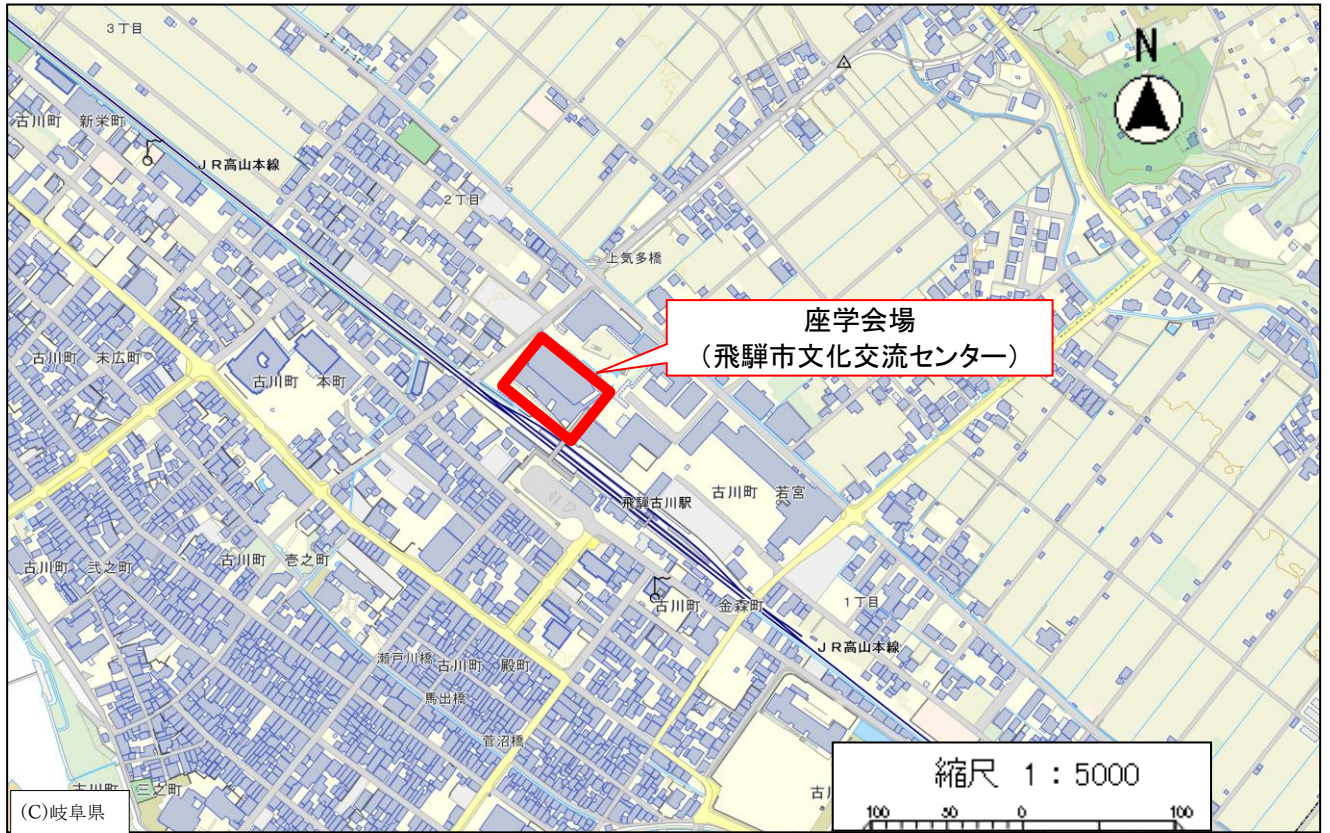


○ロボットトラクタ

あらかじめ入力されたほ場マップを基に、ほ場形状に合わせた最も効果的な作業ルートを自動生成し作業を行う機械。初心者でも効率的な耕起や播種などの農作業が可能。

(開催場所詳細図)

【座学】



【実演】

